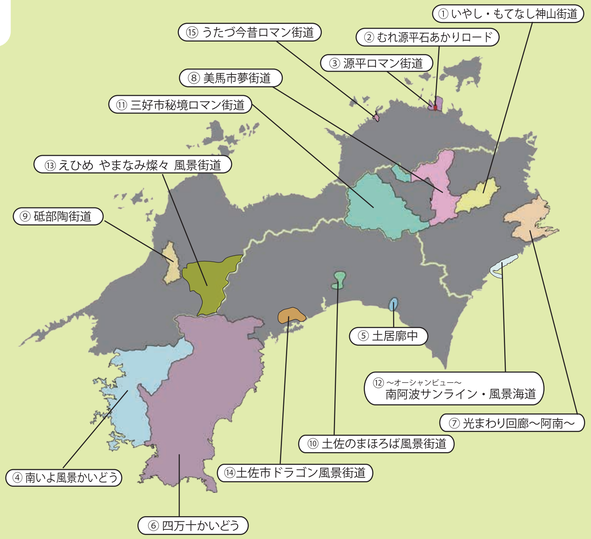
風景街道とは

道は、さまざまな人や物、文化が交流する舞台です。
そして道沿いの地域にはその地域ならではの自然、歴史、文化が息づいており、暮らしがあります。

風景街道は、道と沿道、その周辺を舞台として、
地域住民の皆様・NPO 法人・行政など多様な主体が協力しあい、地域ならではの自然、歴史、文化等の資源を活かして、美しい景観の形成、地域の活性化、観光の振興を図る取組みです。
その結果、かけがえのない日本の原風景や国土文化が維持、再興されることを目指します。

四国の風景街道に是非お越しください。

平成１９年度に風景街道の登録が始まり、全国各地で様々な取組が行われています。
四国では平成27年３月までに１５ルートが登録されています。１５ ルートのそれぞれが個性を活かし、魅力あふれるルートとなっていますので、是非お越しください。



源平ロマン街道

源平合戦の舞台、青い海に思いをはせる道

「源平ロマン街道」は、高松市屋島地区、牟礼地区、庵治地区の様々な活動団体（地元団体、商工関係者、運輸関係者、行政など）からなる「源平屋島地域運営協議会」が活動主体（風景街道パートナーシップ）となって、平成１９年１１月、日本風景街道に登録されました。
平成１８年度以前、源平屋島地域は高松市、牟礼町、庵治町の３つの自治体によりそれぞれの整備が行われていました。しかし３自治体の合併を機会に、魅力あふれる源平屋島地域をより輝かせるため、「源平屋島地域運営協議会」を発足し、協議会を中心に産業・観光・文化などに関する統一した情報発信や整備を進めています。
「源平ロマン街道」は、高松市屋島地区、牟礼地区、庵治地区の屋島ドライブウェイ、県道３６号線、国道１１号などを中心とし、屋島ドライブウェイから庵治半島を瀬戸内海沿いに巡り、道の駅「源平の里むれ」までを結ぶ、魅力あふれる街道です。

特色

源平屋島合戦の舞台　～源平ロマン～

「祇園精舎の鐘の声　諸行無常の響きあり　沙羅双樹の花の色　盛者必衰の理をあらはす　おごれる人も久しからず　ただ春の夜の夢のごとし　たけき者も遂には滅ぬ　ひとへに風の前の塵に同じ」（平家物語序文）
1185 年、壇ノ浦の合戦において、源氏と平家の戦い「源平屋島合戦」と「源平壇ノ浦の戦い」の舞台となったのが、源平ロマン街道です。

瀬戸内海国立公園の多島美　～豊かな眺望～

屋島と庵治半島は、日本初（1934 年）の国立公園、瀬戸内海国立公園に指定されました。内海は、小豆島を始め数多くの島々からなりたち、源平ロマン街道では、あらゆる所から静かな海面に点在する島々を見渡すことが出来ます。また、奈良時代の「屋嶋城（やしまのき）」、源平合戦の平家の根拠地など、先人たちは見晴らしの良いこの地の利を得て、自然の要塞として活用してきました。清々しい「多島美」と歴史にいろどられた見渡しの良い眺望をご覧ください。

新鮮な魚介、牡蠣に舌づつみ　～食・海の恵み～

瀬戸内海の豊かな恵み、なんといっても新鮮な魚介類。源平ロマン街道の周辺は、牡蠣の養殖が盛んで、牡蠣のシーズンになると牟礼地区を中心にいくつもある「カキ小屋」で美味しいとれたての牡蠣を食べることができます。是非、新鮮な海の幸をご堪能ください。

取組

「源平ロマン街道」では、情報発信、観光アクセスの向上、イベントの実施など様々な活動をしています。
特に、源平屋島地域の大自然を利用して、参加者が心と体の健康づくりをしながらこの地域を学び、地域を元気づける「屋島地域自然活用事業」についてご紹介いたします。

「お宝再発見ツアー」
気軽な登山やウォーキングを通じ、歴史・文化・自然に恵まれた、屋島を含め周辺地域の魅力再発見を行っています。毎回好評で、リピーター や新規参加者が回数を 増すごとに増えています。

これまでの主な活動（屋島地域自然活用事業）
- 「屋島山上自然環境体験イベント」開催（屋島山上）
- 「屋島山上お宝再発見ウォーク」開催（屋島山上）
- 「朝日を浴びて健康ヨガ」開催（屋島山上）
- 「満月ヨガ」開催（屋島山上）
- 「屋島遍路道、側溝清掃」の実施（表遍路道）

活動主体・・・・	源平屋島地域運営協議会
活動の範囲・・・	高松市屋島地区、庵治地区、牟礼地区
中心となる道路・	国道１１号・県道３６号線他
登録年月・・・・	平成１９年１１月

見どころ案内

源平屋島合戦にまつわる見どころ

❺ 佐藤継信の碑 [MAP：C-5]
屋島寺から八栗寺への歩きの遍路道の途中で、佐藤継信の死を広く知らしめようと、寛永 20 年（1643 年）に高松藩主松平頼重が顕彰碑を建てたといいます。
[所在地] 高松市屋島東町
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❶ 血の池 [MAP：C-5]
弘法大師が屋島寺伽藍を南端に移す際、お経と宝珠を納めて池としたのがこの瑠璃宝の池。源平合戦のとき檀ノ浦で戦った武士が血のついた刀を洗い、池の水が真っ赤に染まったということから、血の池と呼ばれています。
[所在地] 屋島山上駐車場より徒歩１分
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❻ 駒立岩 [MAP：D-6]
那須与一宗高が扇の的を射るとき、荒れる海の中この岩上で駒を止めたといわれる巨岩。潮が引くとその姿をあらわします。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼宮北
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❷ 赤牛崎 [MAP：C-7]
合戦当時、屋島は島でした。屋島に渡るのに、牛は浅瀬を選んで海を渡るといわれていたので、先に赤牛の群れを屋島に向かわせ、その後をついて源氏軍が渡ったと伝えられています。
[所在地] 高松市屋島東町
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❼ 祈り岩 [MAP：D-6]
那須与一宗高が扇の的を射るとき、この岩に向かって一心に祈ったといわれています。土に半分埋もれていた岩が「祈り岩」。そばに「いの里岩」と書かれた碑が立っています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼宮北
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❸ 菊王丸の墓 [MAP：D-5]
義経の身代わりとなって討たれた佐藤継信の首を取ろうと、駆け寄ってきた平家の若武者、菊王丸。そうはさせまいと、継信の弟である忠信が菊王丸に矢を放ちました。菊王丸は平家の能登守の家来であったので、能登守があわてて自分の船に倒れた菊王丸を投げ入れましたが、傷は深く、18 歳の菊王丸は息絶えてしまいました。その亡骸がこの地に埋葬されました。能登守は、この死を悼みこの日は戦う意欲をなくしたといいます。
[所在地] 高松市屋島東町
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❹ 安徳天皇社 [MAP：C-5]
一の谷の合戦で大敗し、屋島に逃げ延びて来た平家の大将、平宗盛が都司に命じて造らせた安徳天皇の行宮跡。屋島合戦のときに、源氏に焼き払われました。その跡に安徳天皇社が建てられています。
[所在地] 高松市屋島東町 557-1
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❽ 景清錣引伝説 [MAP：D-6]
このあたりで平家軍団一の豪傑とされる悪七兵衛景清と源氏の美尾屋十郎が一騎打ちしたとされています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼宮北
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

【景清錣引伝説】平家軍団一の豪傑とされる悪七兵衛景清と源氏の美尾屋十郎の壮絶な一騎打ち。景清の大薙刀で太刀を打ち落とされ逃げようとする十郎の兜の錣（しころ）をつかみ互いに引きあっていましたが、ついに錣の糸が切れ十郎は辛くも逃げ失せることが出来ました。十郎が「景清の錣の強さよ」と誉め、景清は「十郎の首の強さよ」とお互いに賞賛しあったと伝えられています。

❾ 洲崎寺 [MAP：D-6]
源氏軍が負傷した兵を運び込んだという古寺。佐藤継信の亡骸はこの寺の扉で本陣・瓜ヶ丘まで運ばれたといわれ、継信の菩提寺となっています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼浜北
[連絡先] 087-845-2663

❿ 義経弓流し跡 [MAP：D-6]
反撃に転じ、浜に駆け上がって来た平家の兵。源氏も負けじと、馬を海に乗り入れて戦いました。両軍が入り混じって戦っているうちに、義経は舷にはさんでいた弓を海中に落としてしまいました。馬の上から必死に弓を拾おうとする義経と、義経を熊手でひっかけて捕らえようとする平家。義経の家来たちは、その弓は捨てるようにと声をかけますが、義経は耳を貸さず危険をおかして弓を拾います。後で、家来たちが、例え千金の値がする弓であったとしても、総大将が命をかけて拾うようなことはあってはならないと諫めると、強力で知られた叔父の為朝ほどの強い弓であれば、わざと平家に渡しても良いが、弱い弓が平家に渡ったならば、源氏の大将は非力だと笑われ、敵の勢いも増すだろうと語ったといわれています。
[所在地] 浜北地区射落鼻バス停横
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

【那須与一・扇の的】日も傾き暮れようとしているなか、矢たけびの音も静まり平家・源氏の両軍ともに休息を立て直していたところ、平家軍船の中から一隻の船が近づいてきて岸まで八、九十メートルのところで横向きに止まります。見れば、船の舳先に紅一色で真中に金色の日の丸を描いた扇をつけ十八、九歳ほどの優雅な女房が招いています。後藤兵衛実基が義経に「扇を射よとの合図でしょうが、おとりかも知れません。従者に射させるのがいいでしょう。」そこで弓の名手・那須与一宗高が選ばれました。目を閉じて「南無八幡大菩薩、我が国の神は、日光権現、宇都宮大明神、那須の温泉大明神、どうぞあの扇の真ん中を射当てさせてください。これを射損なうものなら弓を切り折って命を絶ち、人に二度と顔を合わせることはできません。もう一度本国へ迎えてやろうとお思いならば、この矢を外さないでください・・・。」そう祈った後与一は駒立岩まで駒を進め矢を放ったのでした。

⓫ 総門跡 [MAP：D-6]
安徳天皇が六万寺を行在所としていた頃、海辺の防御に備えて門を構えた平家の前哨としていた場所。現在残されている冠木門は合戦跡を後世に残さんと初代高松藩主松平頼重の手によって整備されました。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼浜西
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓬ 射落鼻 [MAP：D-6]
源義経の四天王に数えられた佐藤継信が忠死を遂げた場所。「胸板をすえて忠義の的に立ち」の石碑が建てられています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼浜西
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓭ 佐藤継信の墓 [MAP：D-6]
射落鼻で戦死した佐藤継信を、義経が六万寺の僧侶に頼んで埋葬した場所といわれています。一面には、佐藤継信の墓、五輪塔、佐藤氏舎祖碑、太夫黒の墓、佐藤継信墓遥碑、錣田兵衛尉疑塚碑などがあります。佐藤継信墓遥碑は、継信 30 世の孫佐藤信古氏が建立したものです。

⓮ 太夫黒の墓 [MAP：D-6]
後白河法皇から賜った義経の愛馬、太夫黒は、一の谷の合戦で義経を乗せて、あの断崖をかけおりた名馬。自分の身代わりとなって戦死した佐藤継信の供養のために、義経が志度寺の覚阿上人に寄贈したと伝えられ、それにまつわる伝説が残っています。墓は、佐藤氏舎祖碑のすぐ横にあります。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼王墓
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓯ 長刀泉 [MAP：D-7]
義経軍の食事の用意のために、弁慶が長刀で泉を掘ったと伝えられる井戸。現在は、石組の井戸跡があり、石碑が立っています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼菜切
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓰ 菜切地蔵 [MAP：D-7]
合戦の合間に弁慶が汁を振舞おうと野菜を切るまな板代わりにしたというお地蔵さん。残念ながら、現在、地蔵堂はありますが、当時の地蔵そのものはなく、地元の人は石塔を菜切地蔵と呼んでいます。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼菜切
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓱ 義経鞍掛松 [MAP：C-7]
強行軍でやっと屋島を目前にした義経一行は、ここでひと休みし、そのとき義経は近くの松に鞍をかけて休んだといわれます。今は、何代目かの幼松が植えられています。
[所在地] 高松市高松町
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓲ 相引川 [MAP：C-7]
この川には、東の潮の出入りするところと西の潮の出入りするところがありました。東の潮の出入りするところが屋島の檀の浦で合戦が行われた場所。その後、生駒時代に埋め立てられてしまいましたが、松平頼重が再び川を築造したと伝えられています。
[所在地] 高松市屋島町と牟礼町境一帯
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓳ 屋島寺・宝物館 [MAP：B-5]
四国霊場第六十四番札所。境内にある宝物館では、源平合戦の遺物と宝物、屋島寺に伝わる宝物を展示しています。
[所在地] 屋島山上駐車場より徒歩１分
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓴ 瓜生ヶ丘 [MAP：D-7]
屋島の平氏を攻めるため、源氏が陣を敷いた場所。「宇龍ヶ岡」の石碑が立っています。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼薬師
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

㉑ 六万寺 [MAP：E-6]
寿永２年 (1183 年)、内裏造営の間の行在所として安徳天皇が寄せたお寺です。
[所在地] 高松市牟礼町牟礼田井
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

㉒ 船隠 [MAP：D-3]
平家の軍船は源氏襲来に備え五剣山の麓にある入り江に隠されていました。
[所在地] 高松市庵治町船隠
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

多島美ビューポイント

❶ 遊鶴亭 [MAP：B-3]
屋島北端に位置します。
320 度のパノラマで、瀬戸内海の多島美を堪能できます。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❷ 獅子の霊巌 [MAP：B-5]
内海に突出た断崖に、海に向かって吼えているような獅子にそっくりの岩がそそり立っています。ここからは高松市内、五色台、女木、男木の島々など多島海の美しさを満喫できます。素掘きのかわらけを展望台から飛ばす「かわらけ投げ」が有名です。
[連絡先] 087-841-9443（屋島山上観光協会）

❸ 談古嶺 [MAP：C-5]
源平の古戦場「檀ノ浦」が一望でき、那須与一の扇の的、義経の弓流し、平家軍船の泊地「船隠し」など平家物語の屋島合戦の舞台が眼下に一望できる絶好の場所です。
[連絡先] 087-841-9443（屋島山上観光協会）

❹ 長崎の鼻 [MAP：B-3]
屋島最北端。遊覧事が航空写真ならこちらは船の上から多島美をみているようです。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❺ 屋島スカイウェイ [MAP：C-6]
誰もが車をとめて一度はご覧になる五剣山です。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❻ 屋島山上交流拠点施設（やしまーる） [MAP：B-5]
人々が集まり、くつろぎ、自然や歴史、観光など、屋島の魅力を余すことなく知ることができる屋島の情報発信拠点となる施設です。施設内には、屋島の歴史・文化を発信するほか、飲食・物販スペースや屋外広場、展望スペースなどがあります。
[連絡先] 087-802-8466

❼ 御殿山 [MAP：D-2]
昔はお殿様しかみることができなかった多島美のポイントです。ベンチに座ってゆっくりご覧下さい。北端と長崎の鼻を海からみているように錯覚をするポイントもあります。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❽ 庵治漁港 [MAP：D-2]
県内屈指の漁業の町庵治を代表する風景です。
[連絡先] 087-871-4131（庵治漁業協同組合）

❾ 皇子神社 [MAP：D-2]
映画「世界の中心で、愛をさけぶ」を見た人は絶対に乗るプランコです。庵治漁港が一望できます。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

❿ 王の下沖防波堤 [MAP：D-2]
映画の一場面のような眺望です。特に夕暮れどきは美しい風景が広がります。夕日の時間が特におすすめです。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓫ 城岬公園 [MAP：D-3]
城岬公園は恋人の聖地 100 選に選ばれた臨海公園です。屋島を眼前に望み、特に夕暮れどきは美しい風景が広がります。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓬ 江の浜海岸 [MAP：D-1]
映画「世界の中心で、愛をさけぶ」でサクとアキが行った「夢島」が目の前に見えます。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

⓭ 竹居岬 [MAP：E-1]
四国最北端の場所です。
[連絡先] 087-839-2416（高松市観光交流課）

食・海の恵み

❶ 海鮮食堂じゃこや [MAP：G-7]
道の駅「源平の里むれ」にあるお食事処。「さしみ」「季節の炊き込みご飯」「丼」「天ぷら」「煮つけ」等、その日に獲れた瀬戸内海の新鮮な魚を中心に、1 品 100 円～ 600 円程度でご提供します。団体様でのご予約も可能ですのでお気軽にお問い合わせください。座席数は 50 席以上。落ち着いた空間で旬の魚をご堪能ください。
[時　間] 平日 /11:00 ～ 14:00、土日祝 /11:00 ～ 15:00
[定休日] 第１、第３水曜日（祝日の場合は翌平日）
[連絡先] 087-845-6080

❷ カキ小屋
瀬戸内海の海の恵み、とれたてカキを豪快にスコップですくって鉄板で焼いて食べる。海の香りに包まれながら味わうカキは最高です。牟礼町内にはカキの海賊焼きが楽しめる店が多くありますので、ぜひお試しください。（ほとんどのお店が要予約となりますのでご注意ください。）
[期　間] 11 月頃～３月頃
[連絡先] お店情報は、こちらまで。
all YASHIMA（https://www.yashima-navi.jp/）

皆様へのメッセージ

源平ロマン街道

「源平ロマン街道」は、源平屋島合戦で有名な檀の浦古戦場を囲む形で存在し、瀬戸内海国立公園の中にある風光明媚な街道です。

この地域は、多くの源平屋島合戦史跡の外、銘石「庵治石」が産出されることから、石材業が盛んな場所でもあります。
その石材加工技術の高さから、石彫作品も街道沿いに多く見られ、文化芸術施設も地域内に集積することから、県内有数の観光地として有名です。

また、海に面した街道沿いには、豊富な魚介類が味わえる名店もあり、見てよし・食べてよしのコースです。

源平屋島地域運営協議会
事務局：〒760-8571 高松市番町 1-8-15
高松市創造都市推進局
文化・観光・スポーツ部
観光交流課内
TEL 087-839-2416　FAX 087-839-2440
E-mail kankou@city.takamatsu.lg.jp

お休みどころ案内

❶ 道の駅「源平の里むれ」 [MAP：G-7]
「源平の里むれ」は、源平屋島合戦の古戦場として有名な場所に位置し、海を望む風光明媚な地柄です。利用者の憩いの場所として道の駅の隣に公園を設けるなど、家族で楽しんでいただける場所となっています。当駅には、「遍路道」が接していることから、「遍路休憩所」を整備しておもてなしをします。また、あわせて最高級石材庵治石で造られた石のモニュメントなども展示しています。
[時　間]
特産品販売施設 / 9：00 ～ 17：00（通年）
海鮮食堂じゃこや /（平日）11:00 ～ 14:00、（土日祝）11:00 ～ 15:00
屋外休憩施設 / 24 時間
[定休日] 第１・第３水曜日（祝日の場合は翌平日）
[連絡先] 087-845-6080

❷ 純愛の聖地　庵治・観光交流館 [MAP：D-2]
映画「世界の中心で、愛をさけぶ」のロケ地・雨平写真館を復元した施設。映画の中では、サクとアキ、サクと律子をつなぐ場所として使われました。館内には落ち着いた雰囲気のカフェがあるほか、隣接する蔵を改装したギャラリーでは、観光案内や映画にちなんだ資料展示を行っています。
[時　間] 9：00 ～ 17：00
[定休日] 火曜日
[連絡先] 087-871-1700

❸ 屋島山上 [MAP：B-5]
屋島山上には、地元特産のお土産、お食事処が多数ありお楽しみをいただけます。また、旅館やホテルなど宿泊施設もあります。
[時　間] 各店舗による
[定休日] 各店舗による
[連絡先] 087-841-9443（屋島山上観光協会）

アクセス

車
①高松自動車道 志度 IC より県道 141 号線、国道 11 号を経て屋島方面へ
②高松自動車道 高松中央 IC より県道 43 号線、国道 11 号を経て屋島方面へ

ＪＲ
高松駅より高徳線（普通）
屋島山上
シャトルバス 約１８分
JR 高松駅 ― 約１６分 ― JR 屋島駅 ― 約３分 ― JR 古高松南駅 ― 約３分 ― JR 八栗口駅
JR 讃岐牟礼駅 ― 約３分 ―

高松琴平電鉄
高松築港駅より琴平線もしくは長尾線、瓦町駅にて志度線に乗りかえ
屋島山上
シャトルバス 約１０分
琴平線 長尾線 約５分 ― 志度線 約１４分
高松築港駅 ― 瓦町駅 ― 琴電屋島駅 ― 約２分 ― 古高松駅 ― 約２分 ― 八栗駅 ― 約３分 ― 六万寺駅 ― 約２分 ― 大町駅 ― 約１分 ― 八栗新道駅 ― 約２分 ― 塩屋駅 ― 約２分 ― 房前駅 ― 約２分 ― 原　駅

シャトルバス
屋島山上へは、ことでんシャトルバスが運行されています。　お問合せは：ことでんバス　TEL：087-821-3033

お問い合わせ先
四国風景街道協議会事務局　国土交通省 四国地方整備局 道路部地域道路課
〒760－8554 高松市 サンポート３番 33 号　TEL：087－851－8061（代表）
http://www.skr.mlit.go.jp/road/shikoku-fukeiall/

令和５年３月発行